

地域情報誌
2017年2月
(No31)

DE すがね

〈編集・発行〉生きがいのある須金をつくる会

今年も開催、須金市日！



(恒例の雲海塾による餅つき)



(初登場、大迫力の神楽上演)



(こんな素敵な新商品も)



(今年の一文字はこちら！)



1月22日(日)、今年で5回目となる毎年恒例の「須金市日」が開催されました。昨年の大雪に続き、今年も天候不順が予想されたため、須金支所を中心に、室内での開催となりました。残念ながら、屋外での体験ブースは中止となってしまいましたが、予想を上回るたくさんの方々にご来場いただき、とても賑やかな冬の1日となりました。

お昼時には、うどんやピザ、カレーなどを販売するフードブースは大にぎわい。今年初登場の神楽上演も、会場を大いに盛り上げてくれました。

さて、来年こそは、お天気に恵まれますように～！実行委員一同、心より願っています。

(文/須田浩史)



人物紹介

味村 洋子さん

(あじむら ようこ) さん



(和紙絵の作品と一緒に)

毎年1月末に和紙センターで「椿の皮はぎ」が行われています。作業にお邪魔して須金和紙絵の作品づくりを続ける、味村さんにお話を聞きました。

Q. まずはご自身の事について教えてください

岩国の出身ですが、両親の仕事の関係で東京の武蔵野市に住んでいました。勤め先は、新宿の紀伊國屋という本屋さんで、主人のお兄さんとそこで知り合ったのがご縁で結婚が決まり、須金にやってきたのが昭和27年になります。

Q. 須金和紙絵の魅力はなんですか？

普通のちぎり絵や切り絵と違って、和紙に色を付けたものを細かくちぎって水に浸し、ピンセットで台紙にのせて絵を描きます。そうすると立体的な作品が出来ます。根気のいる作業ですが、面白いですよ。まだ和紙センターが建つ前の、古い中学校で作業していた時からなので、30年近くやっています。

Q. 須金は昔と比べてどうですか？

東京から来た時は静かでいいところだと思いました。それでも、昔は子供も多く活気がありましたが、今はさみしくなったと思います。

和紙絵の会員も昔と比べると半分になっているので、興味のある方は一緒にやってもらえたらと思います。毎週水曜日に和紙絵教室を開催していて、それぞれ好きな絵を描いています。

人に歴史あり！！あのテレビでよく見る、新宿紀伊國屋で働いていらっかったとは、ビックリしました。みなさんの回りにも凄い・面白いエピソードをお持ちの方いるのでは？情報提供をお待ちしています。

須金和紙の文化継承のためにも和紙絵の取組みは永く続けて頂きたいです。和紙絵教室に興味のある方は、公民館までお問い合わせください。

(インタビュー/三牧清隆)

地区の移住PR動画が完成～！！



須金地区の移住促進PR動画ができました。

小学生にスポットを当てて、生き生きとした子供たちと、子供たちを見守る地域人々の温かさがうまく表現されています。

ぜひ、一度ご覧ください。

視聴は、「周南市移住促進PRムービー」で検索、または、右のQRコードから。



(早朝から登校に密着)



(地域みんなで見守ります)

ふれあいプラザ前に親水広場が出来ました！

昨年12月に雲海塾や生産組合、地元の有志が集まり、ふれあいプラザ前の竹林整備が行われました。これは、山口県環境保全事業団の助成金を受けて実施されたものです。20名を超える参加者があり、素晴らしい親水広場が完成しました。プラザから見た景観もとても良くなり、川におりる道も松田安弘さんのご協力ですばらしいものが付きました。

今後は農ガニックフェスタなどのイベントで活用して行きたいと考えています。また、農園の時期には、ふれあいプラザに沢山のお客さんがいらっしゃるの、観光客の憩いの場にもなると考えています。

広場の利用については、まだまだアイデアが必要です。定期的な手入れも必要となるので、みんなで知恵を出し、力を合わせて広場を活用して行きましょう。 (文：内山 浩昭)



(作業風景)



(対岸から見た親水広場)

須金地区主な行事予定
(2～3月)

2月

- 2月 2日 (木) 市県民税申告相談会
- 2月 3日 (金) 小学校スキー教室
- 2月 10日 (金) やまびこ号
- 2月 12日 (日) それーねの日
- 2月 17日 (金) 市長と語る集い
- 2月 18日 (土) 和紙絵展 (2/26まで)
- 2月 19日 (日) クリーン作戦 8:00～
人権教育講演会 10:30～
- 2月 23日 (木) 小学校縄跳び大会
入学説明会
- 2月 26日 (日) 消防団訓練

3月

- 3月 1日 (水) やまびこ号
- 3月 3日 (金) 地域参観日
- 3月 12日 (日) それーねの日
- 3月 13日 (月) コミュニティ理事会
- 3月 17日 (金) やまびこ号
- 3月 24日 (金) 小学校修了式

DE すがね掲示板

支所の宿直・日直の職員を募集します。
詳しくは同時に配布している資料をご
確認ください。

※DE すがね無料メール配信

メールでもこの情報誌は読めます！申し込み
方法はdesugane@gmail.comへ配信希望と書
いたメールをするだけ。励ましや感想もこのメー
ルアドレスで受け付けています。
須金で育て、いま全国でがんばっている皆
さんの元へ届けましょう！



特別連載 須金歴史探訪
須金の生い立ち (4) 平安～鎌倉時代

文 高橋 勝己

平安時代の後期には、朝廷内の権力争いや各地の荘園の支配権をめぐる、地方から多くの武士が動員されるようになりました。このとき台頭してきたのが東国の源氏と西国の平氏でした。保元の乱（1156年）と平治の乱（1159年）を制した平氏が、朝廷に代わり政権を握ります。その立場を利用して栄華を極めた平氏を打倒しようと反対勢力である源氏をはじめ、地方の武士や僧兵が兵を挙げるのでした。1185年、屋島の戦いと壇ノ浦の戦いで源義経に敗れた平氏はついに滅亡しました。敗れた平氏方の武士は全国に散らばり、紀の国のこの地域にも、当然入村してきました。当時、未開の地であった向畑に広実左近守が、長谷に秋月丸が流れてきました。

源氏の世となり、1192年鎌倉時代が始まります。全国に散らばった平氏は人目を避けるようにひっそりと暮らしていました。この地にやってきた秋月丸も例外ではありませんでした。ただ、秋月丸はこの地を須磨村と名付けるほどの地位にあり、周りの者は彼を「御所様」と呼んでいました。そのため、広実左近守率いる者以外には平家の血を引く事を隠しながら暮らしていたはずで、父は源雅頼であるとして。（詳細はDeすがねNo.1～3、13～15参照）

須磨という地名は現在の広瀬から中須、須々万地域まで及んでいたと伝えられています。また、平家ヶ岳に平敦盛が祀られているのには、何か縁があるのではないかとおもわれます。（次回につづく）



(写真：長谷、愛宕神社跡 秋月丸の墓とも伝わる)

編集後記

チョコレート美味しい季節になりました。今年寒い日が続く、雪も沢山降りますね。市日も終わって須金の行事もひと段落。ここで力を蓄えて、また春からニヨキニヨキと頑張りましょう！！（三牧）